

第2回甲賀市議会 議会報告会
(市民のみなさんとの意見交換会)

報告書

平成27年7月
甲賀市議会

報告書目次

1. はじめに	1
2. 議会報告会概要	2
3. 質疑応答、意見など	4
4. アンケート結果	1 2
5. 各会場の写真	2 3

1. はじめに

議会基本条例に基づく第2回議会報告会（市民の皆さまとの意見交換会）を5月14日（木）、15日（金）及び16日（土）の3日間にわたり、中学校区単位の6会場で開催しました。

この議会報告会は、市民の皆さまに日頃の議会の活動状況を知っていただくとともに、ご意見やご提言を直接伺い、議会審議への活用や議会運営の改善を図り、より市民に開かれた議会となるよう実施するもので、6会場で合計147人の方にご参加いただきました。

各会場を担当する議員は、議長を除く25人を3班に分け、各班が2会場を担当しました。各班は、常任委員の任期（2年）中は同じメンバーで構成することにしておりますので、第1回議会報告会と同じメンバーとなっております。

今回の報告会は、3月議会で審議した平成27年度予算審査報告を中心に報告させていただいたのち、まず報告内容についての質疑をうけ、その後に意見交換として、議会運営や市政全般など様々なご意見・ご提言をいただきました。

報告会の開催については、第1回目のときと同様に、開始時間なども含め、おおむね良好な評価をいただきましたが、参加者数が全体的に少なく、中でも若い世代の方や女性の方が少ないことなどの課題が残り、より一層の工夫が必要であると感じました。

報告会でいただいたご質問やご意見、アンケートに記載いただいたご意見などにつきましては、この報告書に取りまとめるとともに、議会として検討をし、必要なことにつきましては、市政に反映できるよう取り組んでまいります。

2. 議会報告会概要

(1) 主催：甲賀市議会

(2) 開催日時、会場、担当班、班員（議長は除く）、参加人数

日 時	会 場	班	班 員	参加 人数
平成 27 年 5 月 14 日 (木) 19:00～21:00	水口交流センター	1	◎片山、○田中將、竹村、 谷永、橋本恒、山岡、白坂、 服部	3 0
	土山開発センター	2	◎田中実、○山中、竹若、 小河、小西、森嶋、森田、 加藤、土山	2 2
平成 27 年 5 月 15 日 (金) 19:00～21:00	信楽開発センター	2	◎田中実、○山中、竹若、 小河、小西、森嶋、森田、 加藤、土山	2 5
	かふか生涯学習館	3	◎林田、○戎脇、田中新、 安井、鶴飼、辻、中西、 橋本律	2 5
平成 27 年 5 月 16 日 (土) 19:00～21:00	甲南公民館（プララ）	1	◎片山、○田中將、竹村、 谷永、橋本恒、山岡、白坂、 服部	2 5
	サントピア水口	3	◎林田、○戎脇、田中新、 安井、鶴飼、辻、中西、 橋本律	2 0

(終了時刻は会場により異なります)

(◎班長、○副班長)

(3) 報告内容等

①第1回議会報告会の主な質疑とその対応

第1回議会報告会の各会場での主な質疑とその対応について報告

②市議会の概要

市議会の役割やしきみなどについて説明

③予算特別委員会報告

予算特別委員会で審査した平成27年度甲賀市一般会計予算を中心に概要を報告

④おもてなし条例

平成27年3月議会で議員提案により制定した「甲賀市甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例」の制定主旨などを説明

⑤報告内容に対する質疑応答と議会・市政全般についての意見交換

報告内容に対する各会場での主な質疑応答及び議会・市政全般についての主な意見を4～11ページに掲載

(4) 議会報告会班長会議メンバー

◎加藤和孝、○田中 実、片山 修、田中將之、山中善治、林田久充、
戎脇 浩（◎代表、○副代表）

*班長会議は、議会報告会の内容や運営等を協議するために設置するもので、各班の班長・副班長と副議長とで構成されます。

3. 質疑応答、意見など

Q 1 新庁舎建設について報告があったが、新庁舎の南側に出入口を増やせないか。

A 現時点では、安全面等での道路事情により難しいと考えます。

Q 2 新庁舎建設の説明があり、甲賀大原地域市民センターも建て替えの話があったが、信楽地域市民センターは予定というだけでどのようになるのか。

A 信楽地域市民センターについては具体的な話はありませんが、今年度中に計画したいという話は聞いています。

Q 3 新庁舎建設の基本設計では、市の機能を全て水口庁舎に統合するようになっているが、甲南庁舎はどのようになるのか。

A 地域市民センターの機能は残りますし、甲南地域にある保健センターや各種市民団体が入る予定にもなっています。

Q 4 新庁舎建設の予算20%アップはあり得ないのでは。旧庁舎の有効活用をもっとすべきではないか。合併特例債の利用といっても借金は借金である。財政自立をめざすべきではないか。

A 財政面も含め議会の中での賛成多数により、新庁舎建設計画は進められています。今ここで時間を使つての議論はできませんので、ご理解ください。甲南庁舎の有効利用については、地域市民センターの機能は残りますし、場所の提供を望んでおられる諸団体等に活用していただく計画です。

Q 5 伴中山地域では、猪・猿・鹿等が出没してきている状況だ。鳥獣害の捕獲強化をうたっているが、具体的な捕獲数やその予算は確保されているのか。

A 例えば、鹿1,779頭、猪646頭を捕獲した数字があがっています。他所から水口の方へ移動してきているのかも知れません。動物愛護の観点から難しい点もありますが、猟友会や捕獲隊へも積極的にお願いして取り組んでいきたいと考えます。

Q 6 人口減少に立ち向かうためのコンパクトシティのまちづくりは、水口においてはそういった気配を少し感じるが、他の4町も将来的に長期的にやっていくのか。また、そういった予算や助成金はついているのか。

A 市のまちづくり構想としてはそういう方向でやっています。甲南駅の改修もそのひとつで、周辺を含め、そういった構想で基盤整備をしています。

Q 7 セーフコミュニティ推進事業について説明があったが、セーフコミュニティ認証取得とはどういったものか。日本で11番目に取得するということが、安心安全な取り組みなのだから意識だけの取り組みに終わらず、ハード的な予算も積極的に取り組み、道路整備等もやってほしい。

A セーフコミュニティとは、WHOセーフコミュニティ協働センターが提唱している世界基準の取り組みで、行政や市民、各種団体が幅広く連携し、安心安全なまちづくりに向けて皆で取り組むことにより、国際認証が与えられるものです。今年度内に認証取得を目指しており、啓発や協働の働きかけ等の具体的な取り組みを現在進めています。

Q 8 セーフコミュニティについて、今年度中に認証取得とありましたが、具体的なことについてお伺いします。

A 具体的な取り組み内容がないと認証されません。行政の取り組みだけでは認証されないもので、市民の方々との協力や連携が必要です。現在、甲賀市の地域特性としての「自殺の予防」「交通安全」「高齢者の安全」「子どもの安全」「災害被害の防止」に向け、市民による5つの対策委員会を中心に、誰もが健康で安心・安全に暮らせるまちづくりを目指し取り組んでいただいています。

Q 9 菅谷区団地を出た坂道で交通事故が多発している。歴代区長が度々、右折レーンの設置も含めて要望書を出しているが、なかなか改善できないでいる。

A 甲賀市全体でもこういった要望はたくさんあります。まず、区長の要望書を継続的に進めていく中で、目視での安全対策による看板設置や制限速度標識などの安全マナーを訴えるなど工夫をしていただき、セーフコミュニティ認証取

得の効果を期待したいと考えます。安全対策の予算もしっかり確保していきたいと考えます。

Q 1 0 信楽町の公共下水道事業が再開されるということであるが、全体的な見直しをして頂いた方が効率的ではないか。その見直しの議論がどの程度なされているか。地元では予算をもっとつけてもらえるよう期待しているので、しっかり議論して欲しい。

A 10年かけて長野地域をやり、その他の地域についてはその地域の中で協議していくという方向性があると聞いています。議会としても予算をもっとつけて欲しいという要望もさせてもらっています。信楽だけができていないということで声を上げていきたいと考えています。

Q 1 1 信楽ハイランドが下水道の対策から何故省かれているのか。住民としては早くやって欲しいと考えている。

A ハイランドの下水道処理については、開発された民間業者が管理をされていると理解していますので、産業建設常任委員会では特に取り上げていません。まずは、地元と業者とで話をしてもらおうべきと考えます。そのような話があったことは議会の中でも伝えますので、ご理解を頂きたいと思います。

Q 1 2 議員定数の話であるが、82人から30人となり現在は27人であるが、欠員で26人になっている。もう少し減らすという話は出ていないのか。

A 議員定数については、27人とするときには議会改革特別委員会で議論し、市民の皆さまからもご意見をお聞きしてきました。今後のことについては議会の中で議論をしていく予定となっています。

Q 1 3 議員報酬と定数を併せて考えてはどうか。議員報酬については日当制にしているところがあるが。

A 議員定数については、少なければいいという問題ではないと考えます。地域の声が反映されるような人数ということもあるので、議員定数と報酬についてはセットで考えるのは難しい問題ではないかと考えます。

Q 1 4 議員定数の今後の方向を伺う。甲賀市27名は他市（草津、彦根、東近江、長浜）と比較して多いと思うが。

A 議員定数は合併時の82名が30名になり現在は27名となっていますが、欠員1名で現員数は26名です。次回の選挙では、まだ協議に至ってはいませんが、現状維持か削減かを検討することになります。また、甲賀市だけが選挙の公費負担をしていませんが、どうするかを任期中に検討したいと考えています。

Q 1 5 このほど多羅尾代官陣屋跡を後世に残すための保存会が設立された。歴史遺産としてもすばらしいものである。市と協定を結んでいこうとしているが、議会として議論されていないのであれば、議論していただいて市と一体になって取り組んでいただきたい。

A 文教常任委員会が関係してきますが、今は具体的な議論はできていません。市としても費用等も含め、これから取り組んでいく予定と聞いています。議会としても地元の皆様と連携して取り組んでいきたいと考えています。

Q 1 6 国道307号のバイパスはその後どのようなになっているのか、教えて欲しい。

A 国・県の事業ですので、産業建設常任委員会としては直接的には対応していませんが、今後の進捗については注視していきたいと考えています。

Q 1 7 市債発行は将来的にはゼロになるのか。信楽高原鐵道の再建も借金で行われたのか。

A 市債発行は、将来的にも可能な範囲で行われると考えます。信楽高原鐵道の再建については、本来であれば全体事業費の半分が甲賀市の負担となりますが、新しい制度により市負担分の95%程度が国からの補助で行われています。

Q 1 8 マイナンバー制度は、市としてどのように対応されているのか。

A マイナンバー制度は来年1月からスタートしますので、市としてもそれに合わせて対応しています。全国的にも企業でどう対応するのかが課題となってい

るようです。

Q 19 学校の統廃合について、鮎河小学校が休校となっている。多羅尾小学校も7人と厳しい状況である。市全体としてどのように考えておられるか。議会でも議論されているのか。

A 鮎河小学校は地元からの要望で休校となったものです。市として再編計画の骨格を検討しています。議会として正式にはまだ聞いていないし、文教常任委員会でも聞いていません。議会としても検討することになるかと思いますが、施設の老朽化なども含めどの学校をどうするのか、市民の皆様の同意を得ながら進めることになるかと考えています。

Q 20 後期高齢者について介護はどういうことが課題となっているか、具体的な回答をお伺いしたい。

A 特別養護老人ホームへの待機者が多いことです。在宅医療でも診られるようにすることや、寝たきりの人も入ってもらえる施設が必要と思います。

Q 21 甲賀の國づくりプロジェクト事業について、商品券の内訳と他にも取り組む内容をお伺いしたい。

A 商品券の内訳は、プレミアム商品券2億6,800万円、他にはカタログギフト1,800万円、住宅リフォーム助成2,500万円があります。平成26年度の補正予算で、平成27年度に取り組むこととなります。

Q 22 甲賀町の市街化区域約16haで、将来の工業団地造成の機能を含め、どういう方法で計画を進められるのか。

A 市街化区域で工業専用地域であることから、住宅は建てられません。今後、都市計画の中での事業等を検討していくこととなりますが、注視していきます。

Q 23 人口減少に向かう中で、現状をどのように受け止めておられるのか。次男、三男は甲賀町に家を建てずに水口町等に行き、甲賀町に通勤している。住民の平均年齢も高く住宅問題もあり、現実の姿はどうなっているのか。

A 単に働く場所がほしいとか、議員としてどう対応していくのか、何故出て行

かれるのか、といったことが課題となると思いますが、新しい団地をつくって次男、三男を住まわせるとか、ということも考えられるのではないのでしょうか。

Q 2 4 人口の減少傾向で雇用の確保はどう考えるのか。また、非正規雇用等の労働問題の対策を打ってもらえないか。

A 人口減少は全国的な問題であり、甲賀市では國づくりプロジェクトを立ち上げ、どう立ち向かうのか平成27年秋を目途に検討中です。非正規雇用問題は、行政が労働問題として取り上げることができるのか、考えていきたいと思えます。

Q 2 5 甲賀市内在住の方で退職された60歳～65歳の方の雇用も必要でないのか。市内で勤める場所があるのか。市内の公共施設の人事はどうされているのか。優秀な人材をその中に入れていただくことも必要でないのか。また、年功序列はやめて頂きたい。

A 職員の人事・人材育成についての問題であり、貴重なご意見としてお聞きしておきたいと思えますのでご理解ください。

Q 2 6 地域市民センターに関し、自治振興会の現状の取り扱い事務は少ないのではないかと。決して否定はしませんが、地域市民センターを置くことは経費のむだ遣いではないか。

A 地域市民センターと自治振興会は違います。地域市民センターは、住民票の発行等の市役所の窓口機能を有しています。甲賀町では甲賀大原地域市民センターが設置されていますが、課題もあるかもしれません。市民サービスを低下させないよう、また、自治振興会など民間の力を生かすよう、意見として市に伝えます。

Q 2 7 行政の無駄なところはないのか。住民サービスの低下につながっていないか。市役所は、市民の幸せ・安心・安全につなげることが本来の目的のほず。事業仕分け等、もう一步進んだものにはできないか。

A 市民サービスなど、限られた予算の中でどのように応えられるかは今後とも

課題になるものと考えます。先に実施された公開事業評価の取り扱いは、市として判断されて予算にも反映されています。貴重なご意見としてお聞きします。

Q 2 8 特に図書費などの教育費予算の割合が全体的に少ないのではないかと。また、タブレット端末の授業の効果はどんなものか。使い方の授業をするのか。

A 予算については、全体的なバランスの中で、甲賀市の持っている特性も考慮して配分されたものと考えています。タブレット端末は、使い方を学習するのではなく、タブレットを使って学習の効果を出していくためのもので、まずはモデル的に始めていくものです。

Q 2 9 タブレット端末は、本来なら成果や効果等がわかって予算化し、使用していくのではないかと。

A 成功している事例もあることから、教員の教育も含め、資質向上にむけて普及拡大していく計画です。

Q 3 0 おもてなし条例について説明があったが、具体的にはどうするのか。

A 甲賀のお茶とお酒を信楽焼でおもてなしをとの発信をするもので、まずは広く市民の皆さんにアピールしていくことになります。

Q 3 1 情報基盤整備の現在の加入率で採算がとれるのか。加入者が増加する努力はしているのか。

A 「あいコムこうか」では、テレビやネット、電話等の加入も営業担当を置いて積極的に動いていただいています。平成28年度には採算がとれ、黒字になる試算になっています。今後もしっかりと注視していき、皆さんから寄せられたご意見やご要望はしっかりと訴えていきます。

Q 3 2 甲賀市でも耕作放棄地が増えているが、どうしていくのか。

A 高齢者の増加に伴い後継者不足や後継者育成が課題となっていますが、農業委員会の方でも努力をしていただいています。草刈等はボランティアの協力もいただきながらやっていますが、国の方へも働きかけをしていきたいと考えます。

Q 3 3 鳥獣害対策で今は国の補助費で賄われているが、数年後には防護柵の老朽化が起こる。今後の動向をお聞きしたい。甲賀市は森林が多いので、間伐材を使用して頑丈な防護柵を作り、順次計画していったらどうか。

A 正確な耐用年数は分かりませんが、事故や人為的な場合を除き、半永久的に使用できると考えています。間伐材は耐用年数が短いのではないのでしょうか。今は国の方針で防護材料が補助されていますので、間伐材の使用は考えていません。鹿、猪、猿等の絶対数を減らすことが最適と考えます。地域によっても事情が違いますので、今のご意見も参考にさせていただきます。

Q 3 4 市道名坂・本綾野2号線道路改良事業は大変評価しており、甲賀病院へのアクセス道路として期待している。貴生川から地元への直通バスがないので、是非とも便利にしてほしい。

A コミュニティバスの路線全体を見直し、総務常任委員会として検討を働きかけていきたいと考えます。

Q 3 5 生活保護世帯の実態はどうか。国籍条項はあるのかどうか。

A 約250世帯の方が生活保護を受けておられます。国籍条項はありません。

Q 3 6 土山と朝宮のお茶と土山のきれいな水を販売する企業を誘致してはどうか。

A J Aがお茶飲料を販売しておられます。他のメーカーとのタイアップだと思えますが、水口工業団地の中で茶葉を扱う会社がありました。以前、青土ダムや野洲川ダムで水を取っておられた方もおられたようです。ご意見としてお聞きします。

(参考) その他、「議会が開催される前に意見交換会等をして市民の声を生かしてもらいたい」、「人口減少に立ち向かう本格的な議論をし、独自政策を打ち立てるべき」、「甲南パーキングでも高速バスの乗降ができるようにしていくべき」といったご提案やご意見を頂きました。

4. アンケート結果

参加者の皆さまからいただいたアンケート結果では、議会報告会開催の総合評価として、「よかった」が57%（前回58%）と、第1回目と同様に一定の評価をいただきました。「ふつう」は38%（前回39%）でした。一方、「よくなかった」が5%（前回3%）と、厳しいご意見もいただきました。

6会場の合計人数で147人（前回120人）の方にご参加いただきましたが、そのうち初めて参加された方が64%で、前回は参加された方より大きな割合となりました。これは、案内チラシを地域区長会で各区長様にお渡ししたり、庁内放送で案内したりするなど、前回よりもPRができたことも参加人数の増加につながったものと考えます。議員一人ひとりが周囲の方にもっと声掛けするなど、開催の周知方法は今後の課題でもあります。

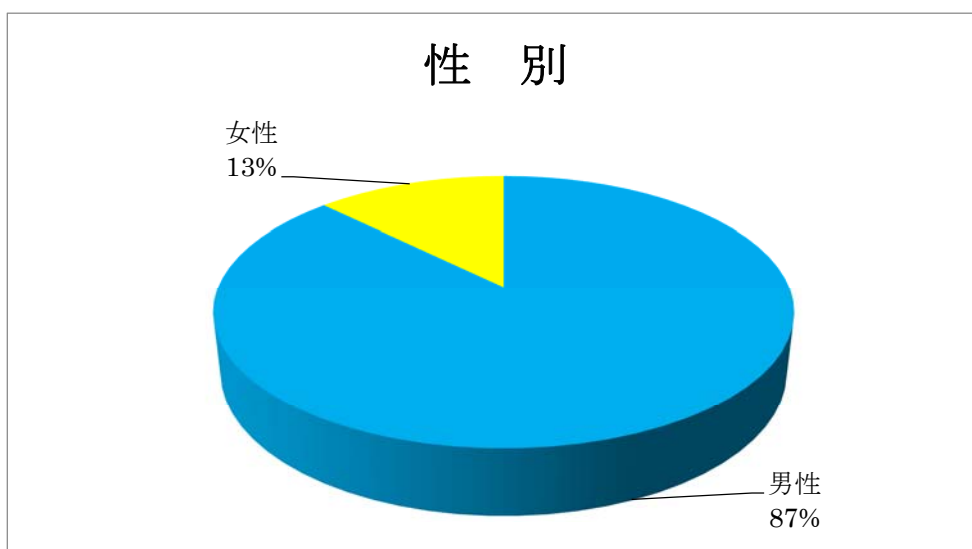
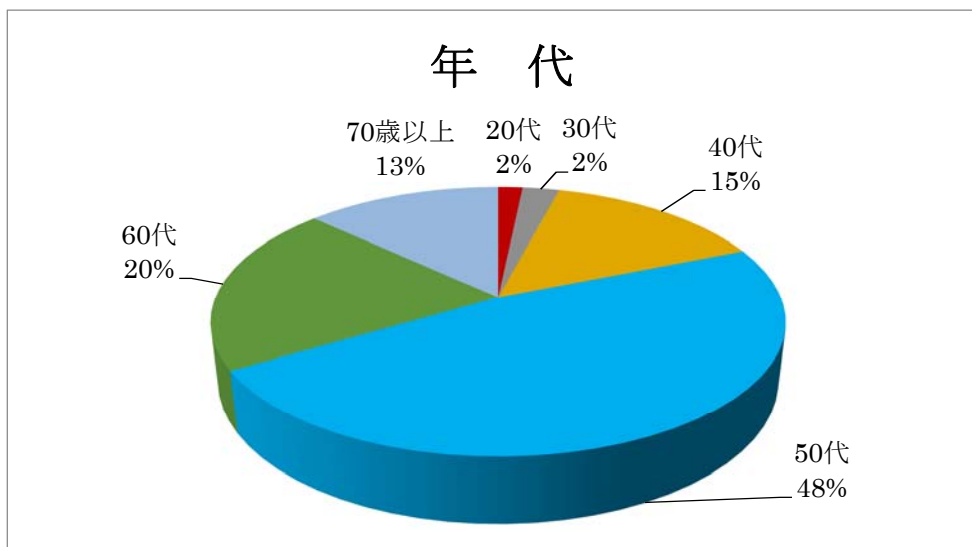
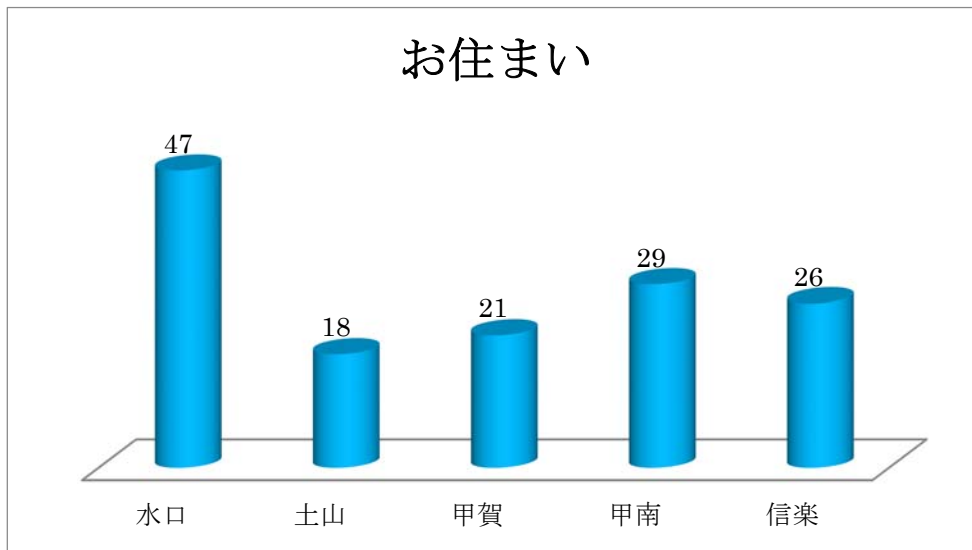
また、配布資料とスライドを用いて行った報告内容については、「分かりやすかった」が65%（前回61%）、「どちらともいえない」が33%（前回35%）、「分かりにくかった」が2%（前回4%）となり、前回よりも少しは良い評価をいただきました。これは、報告するテーマを絞り、報告時間を短くしたことがよかったのではないかと考えます。

開始時間については、「よい」が81%（前回85%）と多くを占めましたが、「早い」が16%（前回10%）となり、開催曜日については、「平日がよい」が51%（前回45%）、「いつでもよい」が32%（前回32%）、「土日がよい」は17%（前回23%）で、お仕事をされている方とそうでない方とで意見が分かれているかも知れません。所要時間については、ほとんどの方がよいとされています。

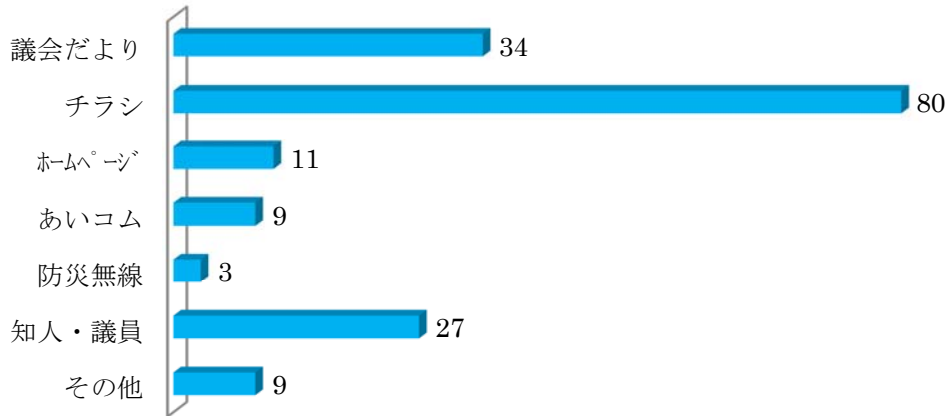
年代別では若い方の参加が少ないこと、性別では女性の方の参加が少ないことが課題であり、時間帯やテーマを工夫するなどして若い方や女性の方の参加を増やす努力も必要と感じました。

以下に、アンケートの集計結果をグラフにまとめ、自由記載欄にご記入いた

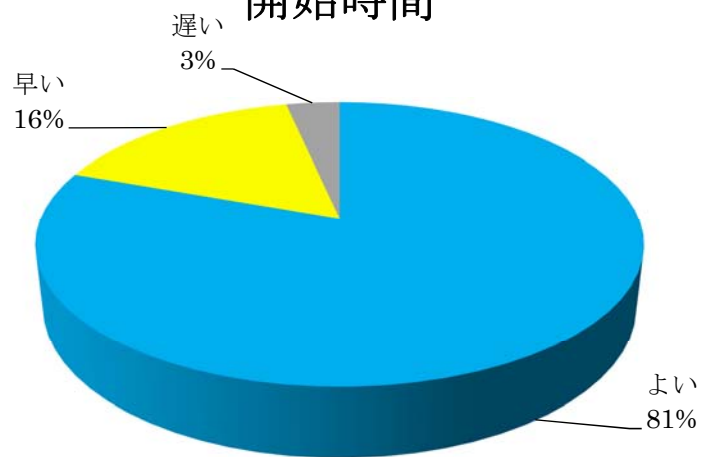
だいたご意見などを原文のまま掲載しました。



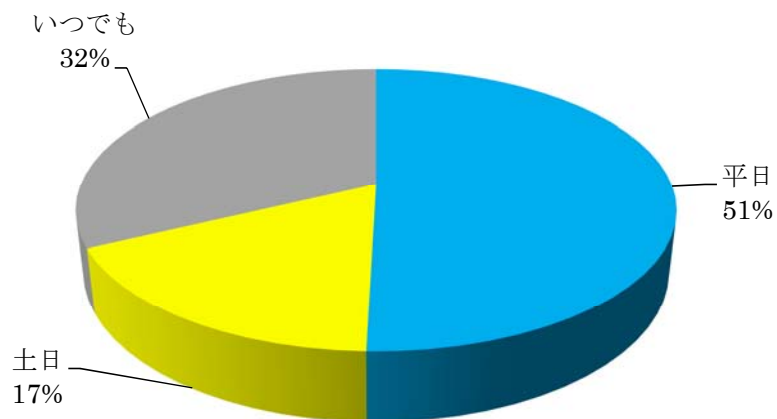
何でお知りになりましたか

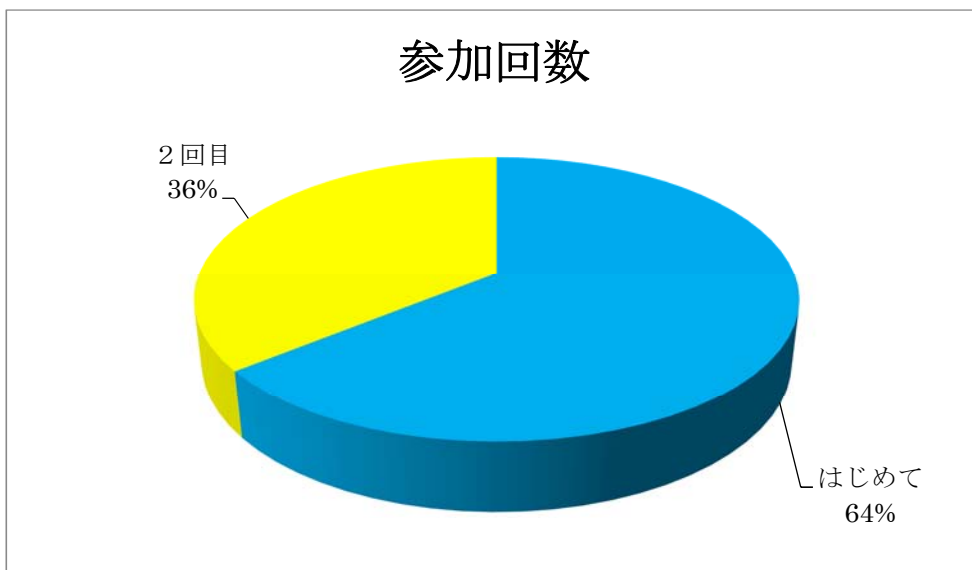
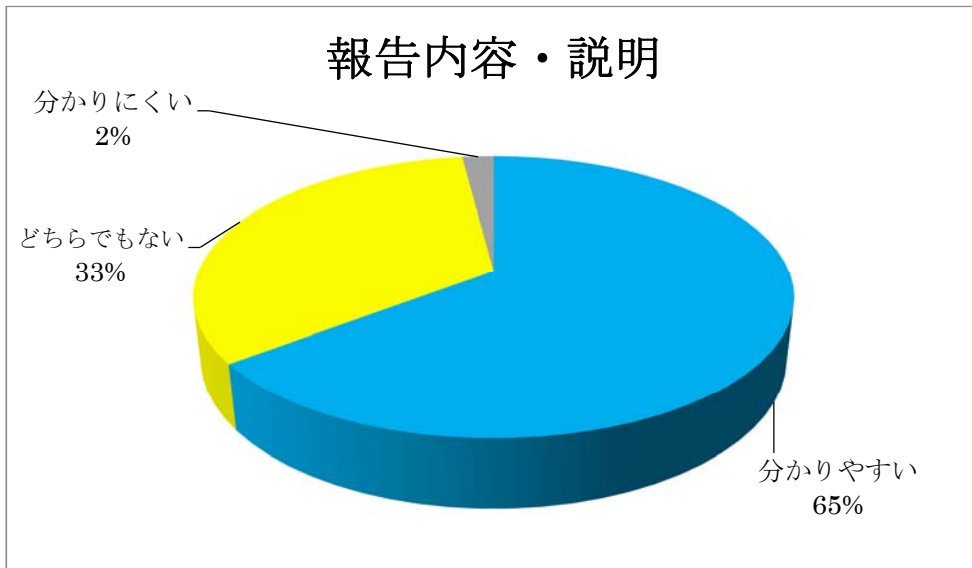
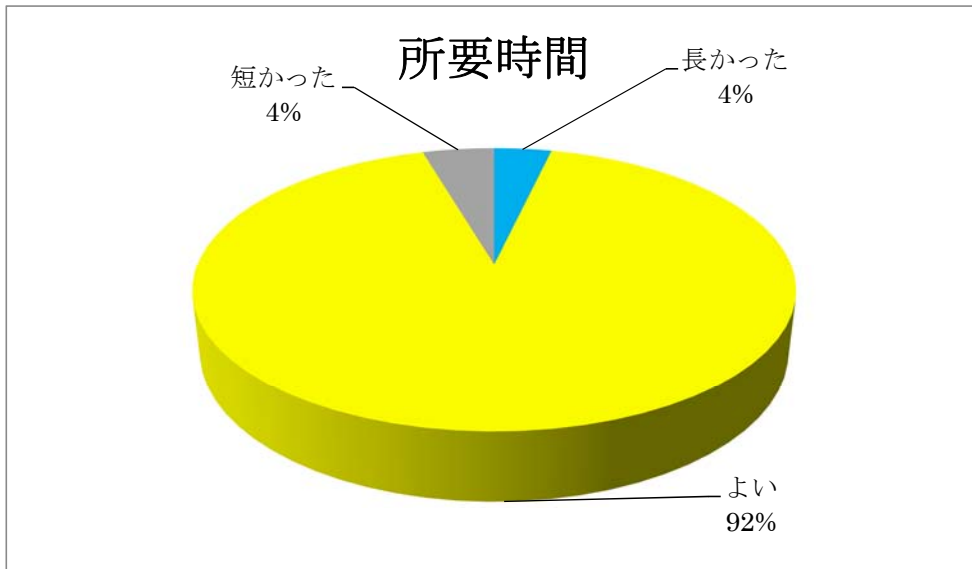


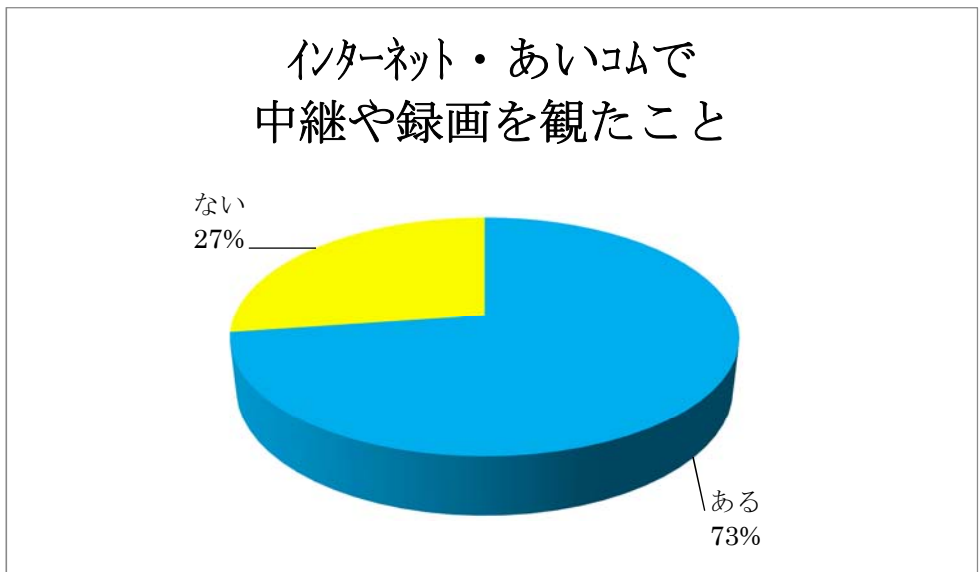
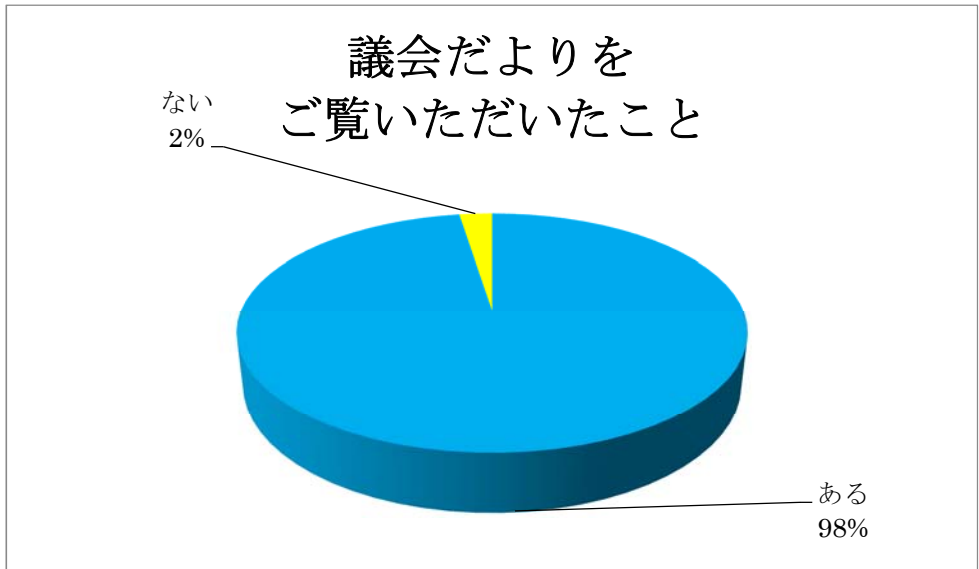
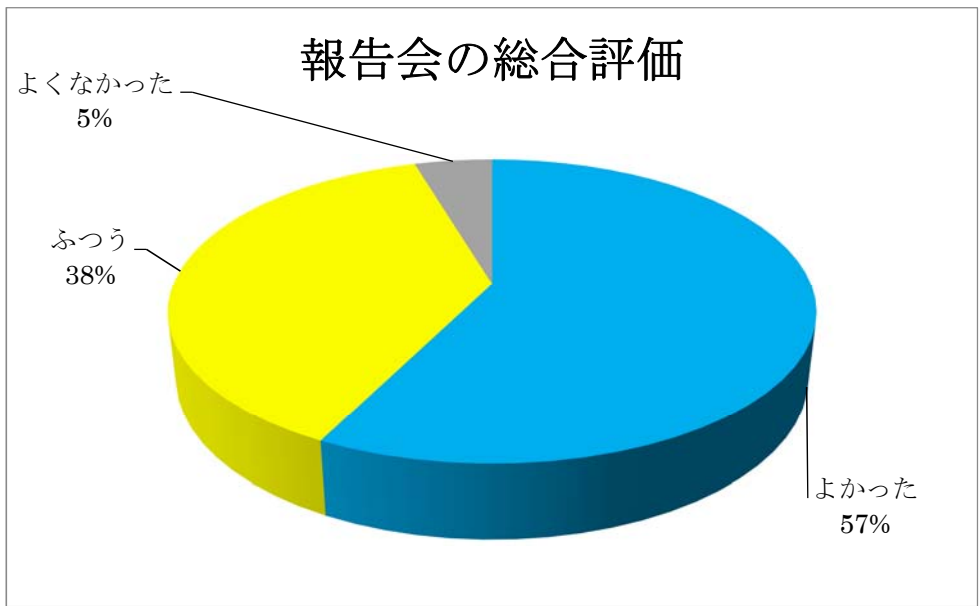
開始時間



開催曜日







＜ご意見・ご要望・お気づきの点＞

- ・ 昨年より報告内容がシンプルにまとめられており、わかりやすかった。
- ・ 説明のボリュームが大きいため、説明が早く、ついていくのが大変であった。
- ・ 個人的には児童クラブの拡充に感謝しております。
- ・ 地域別の事業（ハード・ソフト問わず）について、より多く説明があれば市議会の活動が分かるように思う。
- ・ セーフコミュニティを初めて知った。
- ・ 本年も行政職員が多くを占め、一般市民の参画が少ない状況でありました。開催単位を、たとえば小学校単位にするなどの検討をしていただき参加者の拡大をまず進められてはと考えます。
- ・ 出席者のほとんどが市の職員であった。市民の皆さんの出席が多くなされるよう啓発が必要だと思われる。
- ・ パワーポイントは工夫いただいておりますが、各ジャンルの見出しに統一感を出していただければ全体の流れがもっとわかりやすくなるのではないのでしょうか。
- ・ 「こうか」を「こうが」と読まれる方がおいでですのでお気をつけた方がよいと思います。
- ・ 雇用問題や定着率向上について知恵、アドバイスをいただきたい。
- ・ 行政職員の参加は多く見られたが、一般参加が今回も少ない状態となりました。PR方法が難しいと思われませんが今後検討の必要があると思われま
- ・ 職員自身ももっとPRが必要と思いました。（職員へ、一般の方へ）
- ・ 議会からの報告会もよかったです。行政からの主たる事業の説明会（地域）があってほしいと思います（市民対象に）。
- ・ 報告会については、もっと若者に関心を持って頂けるようなPR等の取り組みを望みます。

- ・ 議会報告会であるので、さらに具体的な議会での議論内容を報告されてはどうか。
- ・ 一般市民の積極的な参加が望まれる。
- ・ 参加者の多くが市職員であり、一般者が少ない。PR方法再考を。
- ・ 議会報告会に持参された資料についての質問に対し、もっとしっかり勉強して対応されたい。
- ・ 資料に記載されている内容について、質問されたことに対しては適確に回答いただけるようお願いしたい。
- ・ 勉強になりました。
- ・ 議員の方に直接聞くことができ良かったです。何度も出席できるよう頑張りたいと思う。在住15年の者の意見です。
- ・ 国県が推進している地球温暖化防止に対する市の取り組みについての話がなかったなので、その点について推進状況について報告がほしい。
- ・ 資料はパワーポイントの印刷＋口頭で説明された数値的なものがあればなお良いのではと思います。
- ・ 学校教室の様な机の配置ですが、顔の見える円卓の様な配置にする方が更に身近な報告会になるのでは。
- ・ もう少し詳しい資料があれば良いように感じた。
- ・ 甲賀会場は前回に比べ参加者が増えたようですが、ほとんどが市の職員でした。行政、政治に関心を持ってもらう何かが必要です。また、市の職員としては質問できない空気です。
- ・ 報告事項の中でテーマ（ポイント）を絞った意見交換会となれば参加者も増えていくのではないのでしょうか（議会としての統一見解としての質疑応答も難しいと感じたところで）。
- ・ 意見質問の時間をたくさんとっていただけただ点は良かったと思います。参加者が増えると良いですね。

- ・司会者の回答が良かった（うまくまとめておられた）。参加者が増加する工夫も必要ではと思います。
- ・開催時間が、家庭を持つ青年から壮年層が参加しにくい時間帯と感じました。参加者の大半が市職員であるのは非常にさみしく感じました。
- ・市民の生の声を聴くことができるいい機会になっている。
- ・議員のみなさんの回答が冷たく感じた。市民にもう少し丁寧な説明を。
- ・行政施策の説明が多すぎないか？行政側の考え方を「議会はこう考える」という説明がもっとあってもいいのではないか？
- ・一般論で片付け過ぎ。特色ある市政を創る気概をもってほしい。
- ・かふかの湯はなぜ復活できないのか？
- ・市民から活発な質問や意見を出され、議員との直接のやりとりがされたことは良かった。
- ・本来、議会開催前に市民の意見要望など聞く機会があるべきでは？
- ・今回初めて参加しました。報告会の開催は良いことだと思います。議会が何をやっているのかが伝わるような活動を期待します。
- ・議会、行政、市民それぞれの立場と意見交換のできる項目となり案件を明確にして、意見交換をすべきではなかろうか？（執行部しか答えられないことが質問に多く出されていたように思う。）要望を聞く会なののでしょうか？
- ・報告された事案の期待成果、目標等は理解できるが、具体的な体制、責任体制、方法論が見えて来ない。高齢化対策、認知症対策、地域のコミュニティ対策にも具体的に踏み込んでほしい。
- ・回答もできる範囲でされていて良かったと思います。
- ・開催は土日の夜にしてほしい。（今回と同様ありがたい）
- ・多くの参加者から意見・要望・質問等があり、初めて参加させてもらったが良い機会となったと感じている。
- ・市民の意見を議会による反映できる機会の一つとして評価したい。

- ・ 一個人の質問が長くあり、広く市民の声を聞く場にしていただければと思います。
- ・ 明確な回答がなかったように思いました。
- ・ 意見聞き取り会のほうがよいのではと思いました。
- ・ 個人的な発表となった。(参加者としては意見を述べたかったと思うが)
- ・ 議会報告として、市民への説明機会としてほしい。個人の考えは、勉強会として議員(個人)の方と話をされた方が良いと思った。
- ・ 甲南駅周辺事業が遅れていますが、工事が伸びることで当初予算では工事費が足りないと思いますが、その分補正されますのかお尋ねします。
- ・ おもてなし条例は良い議案と思います。
- ・ 甲賀市より正規雇用率を、収入安定すれば少子化対策(未婚率の低下)につながると思う。
- ・ 議会が一致して報告会を開かれることは積極的に市民の意思を尊重する姿勢が感じられました。
- ・ 夜間の開催の場合、仕事をされている方は19時に出席するには少し忙しいように思います。19時30分ぐらいからが良いのではないのでしょうか。
- ・ パワーポイントの文字が読みにくかったです。(文字の大きさ・色等)
- ・ 司会者さんが苦勞されているのがよくわかりました。
- ・ 初めての参加でしたが、市議会だよりを読むよりわかりやすかった。
- ・ もう少し時間を、また事前に質問等を聴取されては？
- ・ 質疑や要望、提案に対して、市の方針を唱える議員がいるが、市民の提案・要望を前向きに捉えて頂き、とりあげる方向でお願いしたい。議員の答弁は期待していない。

<市議会全般についての意見>

- ・ さらなる議会改革の推進に期待します。
- ・ 尚一層のご活躍を期待しております。政策提案など期待しています。

- ・セーフコミュニティを積極的に推進してほしい。
- ・活発な広報が必要と感じました。
- ・たいへんありがとうございました。理解を深めることができました。
- ・ご苦労様でした。
- ・議会で審議される議案をホームページ等で公開してはどうか。インターネットを見ていると議論の内容が分からないときがある。
- ・大きなスパンでの議論が必要では。それこそ議会の責務と思うが。
- ・国、県、市としての立場からすべてに賛成という状況にはならないでください。
- ・議会報告会は良かった。今後も度を重ねて戴き参加者の増加も期待したい。
- ・報告会は良い取り組みだと思います。これからも続けてください。市の若手職員と懇談、意見交換をする場があってもいいかもしれません。(本音でしゃべれる場、飲みながら)
- ・現在の市議の定数を減ずる方向性は検討されているのか？一般質問のレベルに差がありすぎるのでは？
- ・行政側（市役所職員等）は、それぞれの分野の専門家。その方針、考え方に対して、議論、反対できるだけの知識等を持ち対等に渡り合えるようお願いしたい。
- ・市議会の概要は必要がないのでは。
- ・多くの市民の方に議会についても関心を持ってもらいより多くの方に参加できるようにご検討ください。
- ・市民の代表であるがゆえに、市民目線で党や会派を超えた対応が必要ではなかろうか。
- ・報告会を開催しなくても、議会が何をやっているか伝わるような活動を期待します。
- ・公聴会の頻度を増やしたほうがよいのでは。

- ・要望されることが多く、意義があったと思います。
- ・ありがとうございました。
- ・議会において甲賀市の発展的議論のうえ、よりよい市政を創りあげてください。
- ・もっとフレキシブルに甲賀市より良い提案をしていってほしいと思います。
- ・市のまちづくりに対して、市民の意思届けて頂いて市議会があることを改めて認識いたしました。行政が正しい方向へ進めていけますよう今後とも議会の力で推進お願いします。
- ・議員定数を20名程度に削減し、議員報酬をもっと上げるべきです。

5. 各会場の写真

(1) 水口交流センター



(2) 土山開発センター



(3) 信楽開発センター



(4) かふか生涯学習館



(5) 甲南公民館



(6) サントピア水口

